

平成24年5月吉日

各位



第60回電気科学技術奨励賞・候補者ご推薦のお願い

拝啓 時下ますますご清栄の段お慶び申し上げます。

当財団につきましては、毎々格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、第60回(平成24年度)電気科学技術奨励賞につきまして、別紙の要領にてご推薦賜りたくお願い申し上げます。

なお、『推薦書等提出部数』は審査の都合上、5部(1部は正、4部はコピーでも可)となります。

何卒よろしくご配慮のほどお願い申し上げます。

電気科学技術奨励賞ご推薦のご案内とお願いまで

敬具

電気科学技術奨励賞・候補者推薦のお願い

昭和27年に設定されました電気科学技術奨励賞は、本年で第60回を迎えることとなりました。毎年関係各位のご協力により多数の隠れたる優れた電気科学技術功労者を表彰する事が出来て、いささかわが国の電気科学技術の進歩発展に寄与するところとなり、深く感謝しております。本年も受賞候補者を数多くご推薦下さいますようお願い致します。

平成24年5月

公益財団法人 電気科学技術奨励会
会長 関根泰次

第60回 電気科学技術奨励賞・規定

1. 助成金および贈賞件数

総額を350万円とし、助成金および件数は、推薦内容により電気科学技術奨励賞委員会で決定し、賞状・記念楯ならびに助成金を贈呈する。

他に特選1件に対して文部科学大臣奨励賞を、準特選1～2件に対して電気科学技術奨励会会長賞を贈呈する。

2. 贈賞の対象者

電気科学技術に関する発明、改良、研究、教育などで優れた業績を挙げ、日本の諸産業の発展および国民生活の向上に寄与し、今後も引き続き顕著な成果の期待できる人を対象とする。

3. 贈賞候補者推薦の範囲

- (イ) 職歴通算10年以上の人とする。
- (ロ) テーマ1件につき候補者は3名以内とする。
- (ハ) 同一の企業や団体からの推薦テーマは3件以内とする。ただし、同一分野からは1件とする。
- (ニ) 推薦の対象となる業績で、過去において公的表彰を受けていない人とする。
公的表彰とは、本賞のほか、大臣賞、学会賞、および当該分野で権威ある賞をいい、これら公的表彰を同一テーマで、かつ個人名で受賞した場合は推薦対象としない。
ただし、会社や事業所で受賞した場合は、推薦対象とする。
- (ホ) 電気科学技術分野での永年にわたる勤務中の努力の顕著な人、および過去に公的表彰を受けたテーマで、重要な役割を担いながら、人数枠などの関係で選に漏れた人とする。
- (ヘ) 以上の各項範囲を逸脱する推薦書類は受理しない。

4. 贈賞者の選定について

電気科学技術奨励賞委員会で、企業や教育機関等から提出された推薦書の内容につき、技術や実用価値の高さ、社会・経済に対する効果の大きさなどに重きをおいて審査の上、贈賞者を選定する。

5. 受賞候補者推薦の締切

平成24年6月30日(土)必着のこと。

6. 推薦書等提出部数

推薦書・参考資料の提出部数は5部(1部は正、4部はコピーでも可)とします。事務整理の都合上、特定推薦書用紙(A4判厳守。同封の用紙もしくは電子データからダウンロードしたもの)以外はできるだけ使用しないでください。

7. 推薦書の送付先

郵便番号101-0054
東京都千代田区神田錦町3の1
公益財団法人 電気科学技術奨励会 事務局
電話 03-3233-0695

8. 受賞者の発表

平成24年10月中旬 本人・推薦者へ直接通知するほか技術総合誌「OHM」を始めオーム社発行の月刊雑誌に発表。11月下旬贈呈式を挙げる予定。

9. 推薦書等の取り扱いについて

ご送付いただきました推薦書等の書類一式は返却いたしません。

推薦書の内容(個人情報を含む)については、本賞の選考を目的として利用させていただきます。

ただし、受賞された方々については、当財団が配布する受賞者一覧に掲載し、かつ技術総合誌「OHM」(オーム社発行)へ掲載させていただきます。なお、今後当財団より、推薦者および被推薦者の方へ、電気科学技術奨励賞及び当財団主催の講演会等に関するご案内を送付する場合がございます。

第60回 電気科学技術奨励賞委員会 委員 (敬称略、五十音順)

- | | |
|--|--|
| 関根泰次 (委員長) 公益財団法人電気科学技術奨励会会長・東京大学名誉教授・工学博士 | 東口 實 東京大学名誉教授・工学博士 |
| 下邨昭三 (副委員長) 公益財団法人電気科学技術奨励会理事長・公益財団法人核物質管理センター相談役 | 藤巻忠雄 東京電機大学名誉教授・工学博士 |
| 朝日 弘 経済産業省大臣官房審議官 | 村田和夫 東京急行電鉄(株)鉄道事業本部電気部統括部長 |
| 伊藤日出男 (独)産業技術総合研究所イノベーション推進本部
イノベーション推進コーディネータ 工学博士 | 吉田大輔 文部科学省研究振興局長 |
| 児玉雅俊 (一般社)電気通信協会専務理事 | 禮田英一 国土交通省総合政策局技術政策課技術開発推進官
(一般社)電気学会会長(平成24年度の新会長) |
| 篠原弘道 日本電信電話(株)取締役研究企画部門長 | (一般社)電子情報通信学会会長(平成24年度の新会長) |
| 土屋忠巳 東日本旅客鉄道(株)取締役 鉄道事業本部電気ネットワーク部長 | (一般社)情報処理学会会長(平成24年度の新会長) |
| 手島康博 電気事業連合会理事 | |
| 長谷川英一 (一般社)電子情報技術産業協会常務理事 | |
| 早野敏美 (一般社)日本電機工業会専務理事 | |

(本書式の電子データは、オーム社ホームページの電気科学技術奨励賞ご案内にありますので、ダウンロードしてご利用下さい。)

第60回(平成24年度)

電気科学技術奨励賞受賞候補推薦書(技術関係用紙)

受付	月 日
	No.

受賞候補題名	
--------	--

推薦者	機関名	代表者名・役職名	
	所在地	〒	Ⓜ
		TEL	(役職)
		URL	
受賞候補者	ふりがな 氏名・役職	(筆頭者)	(役職)
	勤務先	TEL	FAX
	略歴	1. 生年月日 2. 最終学歴(年月・専攻) 3. 職歴年数(当該会社, 研究所, 大学等で)	
	成果創出時の 担当業務及び役職	(担当業務)	(役職)
	ふりがな 氏名・役職		(役職)
	勤務先	TEL	FAX
	略歴	1. 生年月日 2. 最終学歴(年月・専攻) 3. 職歴年数(当該会社, 研究所, 大学等で)	
	成果創出時の 担当業務及び役職	(担当業務)	(役職)
	ふりがな 氏名・役職		(役職)
	勤務先	TEL	FAX
担当連絡者	略歴	1. 生年月日 2. 最終学歴(年月・専攻) 3. 職歴年数(当該会社, 研究所, 大学等で)	
	成果創出時の 担当業務及び役職	(担当業務)	(役職)
	ふりがな 氏名・役職		(役職)
	E-mail		
勤務先	TEL	FAX	
所在地			

● 技術関係用紙（その2）

4. 実用化の状況・将来性（国内外）

5. 効果（経済、技術波及、環境、安全、国民生活、その他分野への貢献効果）

6. 補足事項（特許、査読付論文、努力の積み重ね実績^(注)、関係した公的表彰）

(注) 積年の努力事項や従事年数などのことです。欄が不足する場合は必要最小限の添付資料で補って下さい。

7. その他の特記事項

(本書式の電子データは、オーム社ホームページの電気科学技術奨励賞ご案内にありますので、ダウンロードしてご利用下さい。)

第60回(平成24年度)

電気科学技術奨励賞受賞候補推薦書(教育関係用紙)

受付	月 日
	No.

受賞候補題名	
--------	--

推薦者	機関名	代表者名・役職名	
	所在地	〒	Ⓜ
		TEL	(役職)
		URL	
受賞候補者	ふりがな 氏名・役職	(筆頭者)	(役職)
	勤務先	TEL	FAX
	略歴	1. 生年月日 2. 最終学歴(年月・専攻) 3. 職歴年数(当該会社, 研究所, 大学等で)	
	成果創出時の 担当業務及び役職	(担当業務)	(役職)
	ふりがな 氏名・役職		(役職)
	勤務先	TEL	FAX
	略歴	1. 生年月日 2. 最終学歴(年月・専攻) 3. 職歴年数(当該会社, 研究所, 大学等で)	
	成果創出時の 担当業務及び役職	(担当業務)	(役職)
	ふりがな 氏名・役職		(役職)
	勤務先	TEL	FAX
	略歴	1. 生年月日 2. 最終学歴(年月・専攻) 3. 職歴年数(当該会社, 研究所, 大学等で)	
	成果創出時の 担当業務及び役職	(担当業務)	(役職)
担当連絡者	ふりがな 氏名・役職 E-mail		(役職)
	勤務先	TEL	FAX
	所在地		

